

2024 年度  
STATION Ai 株式会社の取組状況（事業報告）

本資料は、STATION Ai 株式会社が作成した取組状況についての報告を基に、愛知県としての分析・評価等を追加したものです。

## 1 事業概要

### (1) STATION Ai の概要

「STATION Ai」は、名古屋市昭和区鶴舞に、2024年10月に開業した日本最大のスタートアップ支援拠点で、敷地面積約7,300 m<sup>2</sup>、延床面積約23,600 m<sup>2</sup>の鉄骨造地上7階建ての建物です。数多くのスタートアップを創出・育成し、海外展開を促すとともに、世界から有力なスタートアップを呼び込むこと



STATION Ai

で、優秀な人材を集め、さらに、スタートアップと地域のモノづくり企業等との交流による新たな付加価値が次々と創出される中核拠点を目指しています。

STATION Ai では、スタートアップやパートナー企業(事業会社、大学、自治体等)向けに、個室、固定席、コワーキングと用途に応じた執務環境を提供する各種基本サービス及びテックラボの利用やSTATION Ai 所在地での法人登記等の各種オプションサービスを提供しています。

また、会員に限らずどなたでも利用できるイベントスペース・会議室やカフェ・レストラン等の飲食スペースを設けることで地域住民のコミュニティ形成を促進する場を目指しています。

さらに、遠方からのスタートアップなどの滞在を想定したホテルや子育てと事業成長の両立を支援するための託児施設の運営など、来訪者の利便性向上を図っています。



STATION Ai オープニングイベント



## 会員専用ゾーン

スタートアップ・企業が利用

## 一般開放ゾーン

スタートアップ・企業だけでなく、学生や近隣の住民が利用

STATION Ai 館内図

### 館内設備



個室



固定席



コワーキング



テックラボ



イベントスペース



大会議室



カフェ・レストラン



Minn STATION Ai Nagoya (ホテル)

## (2) 施設運営の概要

STATION Ai は、民間の経営能力や技術的能力などを最大限に活用できる PFI 方式を採用しています。施設の建設については BT（建設・所有権移転）方式、運営についてはコンセッション方式を採用することで、設計から運営までを一貫して民間事業者が計画し、運営を踏まえた最適な施設整備が可能となり、また、運営面においても民間事業者の創意工夫が活かされることが期待できます。

本事業では、ソフトバンク株式会社の 100%子会社である STATION Ai 株式会社が運営を担っています。（以下「本コンセッション事業」という。）

本施設では、主に執務を目的としたオフィスエリアは、会員制となっており、オフィス会員・リモート会員の種別があります。

会員スタートアップ支援としては、メンタリング・事業相談・採用支援・資金調達支援を通じて、スタートアップの成長環境を充実させています。

また、パートナー企業支援としては、自らが抱えている課題抽出や解決方針策定・マッチングへの総合支援を行うことを通じて、スタートアップとのオープンイノベーションを推進しています。

さらに、コミュニティの機運醸成・イベント・オフィスアワーや各種情報提供を行う STATION Ai コミュニティ支援により新たな出会いや交流を次々と生みだしています。

加えて、周辺地域との連携として、鶴舞・千種エリア全体をイノベーションの拠点とすることを目指した活動にも参画しています。

## 2 収支実績

本コンセッション事業の対象施設である STATION Ai が開業した 2024 年度において、STATION Ai 株式会社は 72 百万円の当期純利益を計上しました。この利益については、STATION Ai 株式会社が将来的に行うスタートアップ支援サービスの提供に充てることとしております。

本コンセッション事業では、①スタートアップへの利用料軽減として、資金力が脆弱であるスタートアップに対してオフィス賃料等の一部、②スタートアップに対する支援業務の充実として、STATION Ai 株式会社によるスタートアップ向けオフィス等の計画収入額から実収入額が下回った金額分の 2 点を、愛知県が政策的に支援することとなっております。2024 年度は、①、②ともに愛知県から政策的支援が実施されました。

### 【愛知県による分析・評価】

2024 年度においては、当初見込んでいた会員の席数に基づく計画収入額に対して実収入額は下回ったため、STATION Ai 株式会社に対してスタートアップ支援業務の充実のための政策的支援（上記②）を実施しました。

しかしながら、年度末に向けて徐々に会員向け有償支援プログラムや受託事業を拡充し、スタートアップ支援等による収入を積極的に確保しており、政策的支援（上記②）に依存しない経営努力をしています。一方で、誘致活動への注力による会員の伸びにより、スタートアップへの利用料金軽減（上記①）が生じることは本コンセッション事業の計画に沿ったものと考えます。

以上のことから、経営面では順調な滑り出しとなったと評価しています。

### 3 業務評価指標及び業務別の主な取組内容

2029年度までの業務評価指標と2024年度の達成状況は下表のとおりでした。

| 項目                | 2024年度実績 | 2029年度目標 |
|-------------------|----------|----------|
| スタートアップ会員数        | 約500社    | 1,000社   |
| パートナー企業会員数        | 約260社    | 400社     |
| 女性起業家数比率          | 12%      | 20%      |
| 海外スタートアップ比率       | 6%       | 20%      |
| 資金調達社数            | 46社      | 400社/年   |
| 資金調達額             | 115億円    | 500億円/年  |
| Exit (M&A, IPO) 数 | 0件       | 16件/年    |
| マッチング件数           | 1,014件   | 2,000件/年 |

STATION Aiの運営業務は(1)統括マネジメント業務、(2)運営業務、(3)維持管理業務に大別されます。また独自の事業として、(4)任意事業を実施しています。各業務の概要と2024年度を取組状況は以下のとおりです。

#### (1) 統括マネジメント業務

事業全体を安定的かつ円滑に進捗させることを目的とした業務です。

事業計画の策定を始めとした年度における計画管理や、これらに関するモニタリングを実施しました。具体的には、管理計画書及び業務計画書に対して、達成状況や成果等について自己点検・評価するセルフモニタリングを実施しました。

また、経理業務として、予算管理や財務諸表等の作成と報告、総務業務として、文書の保存・管理、連絡会議や協議会等の各種調整・準備を実施しました。

これらの業務を通じて、STATION Aiの運営に関する全体管理が円滑に行われました。

#### (2) 運営業務

##### ア トータルコーディネイト業務

愛知県やパートナー企業、愛知県がスタートアップ支援について提携の覚書等を締結している海外機関等と連携し、スタートアップ支援を行うにあたり、その関係者間で協議・調整を行うとともに、必要に応じて各関係者が実施する事業の見直し・改善を支援するなど、STATION Aiにおいて展開される各種事業のコーディネイトを行う業務です。

施設全体でのプログラム提供等に係る運営方針を策定し、関係機関が提供するプログラム等について館内サイネージやコミュニケーションツールにより発信、周知しました。

## イ 支援プログラム提供業務

会員を主な対象に、スタートアップの育成や事業会社とのオープンイノベーションの推進、実効性ある事業計画の立案・策定等を支援する独自のプログラムを企画・提供する業務です。

### (ア) スタートアップ支援

#### a スタートアップ個別支援

事業相談・グロース支援や資金調達支援など、コミュニティマネージャーや専門分野におけるメンターにより支援しました。

#### b 採用支援

スタートアップ向け採用イベント「INNOVATION JOB FAIR 2024 ～STARTUP DAY AICHI～」の運営や、パートナー企業からの紹介及び教育機関との連携により、スタートアップへの人材採用を支援しました。

#### c 起業家支援プログラム

会員の予備軍である起業に関心のある層の拡充を目的に、学生、社会人をそれぞれ対象にした起業家発掘・育成プログラム「STAPS」及び「ACTIVATION Lab」を運営しました。

#### d 成長支援プログラム

創業期からシード期のスタートアップを対象とした資金調達のための短期集中型支援プログラム「STATION Ai Catapult」を実施しました。

### (イ) パートナー企業支援

#### a オープンイノベーション支援

事業会社向けのオープンイノベーション支援プログラムである「SKIP」により、プログラム形式の支援に加え、ワークショップやリバースピッチ、個別マッチングや伴走支援を実施しました。

#### b オープンイノベーションイベント

スタートアップとの協業を目的とする事業会社から自社の課題解決に向けたスタートアップへの逆提案を行うリバースピッチなど、パートナー企業によるイベント開催を多数サポートしました。

## ウ 各種イベント・セミナー開催業務

県内外において関係機関等とも連携しながらスタートアップを支援するためのイベントや、スタートアップの海外展開及び海外のスタートアップ・人材・投資の呼び込み等に資するイベント・セミナー等を企画・開催する業務です。

STATION Ai 株式会社の主催による会員同士の交流を促進する「カフェ

会」や、スタートアップによるピッチイベント「Pitch & Meetup」を定期的に開催しました。

また、パートナー企業による自主的なイベントやワークショップの開催も実施されました。

さらに、STATION Ai 内のコミュニティの活性化や会員による自発的な仕組み作りを実施しました。会員それぞれが専門家として他の会員に対して行う専門家個別相談会である「オフィスアワー」や、会員同士が密に連携し知識や経験を共有する小規模コミュニティである「ギルド」を設けました。このうちオフィスアワーは、金融機関係 VC や税務、自治体などのテーマで、ギルドは、生成 AI などのテーマで実施されました。

なお、会員外との連携としては、日本ロレアル株式会社のスタートアッププログラム「Big Bang プロジェクト」のパートナーとして、美のビジネスに革新を起こすスタートアップを募集するピッチイベント「ロレアル Big Bang ビューティーテックイノベーション 日本選考 2025」を開始しました。(2025 年度まで実施。)

## **エ オフィス運營業務**

会員向けのワークスペースである個室・固定席・コワーキング・会議室等及び各種設備について管理し、利用者が適切に利用できる環境を維持する業務です。

会員向けに設備利用のための予約システムを開発・提供し、システム経由での予約導線を整備しました。

また、清掃や利用者アンケート等施設の環境を維持しました。

## **オ 会議室及びイベントスペース等運營業務**

会員以外も利用可能な会議室・イベントスペース及び各種設備について管理し、利用者が適切に利用できる環境を維持する業務です。

申し込みから請求・利用までの手続きを整理し、利用者が適切に利用できる環境を整備したことで、会議室及びイベントスペース等において、多様なイベントが実施されました。

また、STATION Ai 内カフェ・レストランとのケータリングの連携により、利用率の向上を促進しました。

## **カ テック・ラボ運營業務**

モノづくりに関するスタートアップをはじめ、試作品の製作や評価相談等が可能である施設の運營業務です。

設備の利用方法の説明や相談対応、アドバイザー、安全管理を行う  
テックスタッフの配置及び利用者への利用前の安全講習を実施しまし  
た。

また、利用促進のため無料体験会を実施しました。

#### **キ 宿泊・研修施設運營業務**

スタートアップ関係者をはじめ国内外のスタートアップ支援の関係者  
や研究者等が滞在できる宿泊・研修施設の運營業務です。

会員スタートアップである株式会社 SQUEEZE により「Minn STATION Ai  
Nagoya」を運営しました。利用者の利便性向上として、朝食提供を開始  
しました。

#### **ク 託児施設運營業務**

STATION Ai の利用者のための託児施設運營業務です。

#### **ケ カフェ・レストラン等民間収益施設運營業務**

STATION Ai の利用者ためのカフェ・レストラン、コンビニエンススト  
ア運營業務です。

カフェ・レストランでは、国籍や食文化の違いなど食の多様性に配慮  
したメニューの提供を実施しました。

#### **コ 駐車場・駐輪場運營業務**

STATION Ai の利用者のための駐車場・駐輪場運營業務です。

#### **サ 利用促進業務**

国内外を対象としたマーケティング活動や利用者の意見等の収集、宣  
伝・営業活動、国内外のスタートアップ等の誘致促進を行う業務です。

利用者への意見収集や満足度調査、デジタルパンフレットのホームペ  
ージへの掲載、SNS による情報発信を実施しました。

また、愛知県と連携し、2024 年 10 月 31 日から 11 月 2 日にかけて、  
グランドオープンに際しオープニングイベントを開催しました。

さらに、STATION Ai の認知及び会員獲得向上のため、情報や取組の発  
信を行いました。STATION Ai 株式会社の自社 HP 及び Instagram 等の SNS  
での情報発信や、東海旅客鉄道株式会社（JR 東海）と協働し、JR 東海初  
の副駅名の設定や名古屋駅での認知向上イベント「STATION Ai ～  
STARTDASH 名古屋駅 EVENT～」を実施しました。

## シ 各種提案事業

愛知発のイノベーションの創出や社会課題解決に貢献するため、周辺に立地する大学・研究機関との連携や最先端事業、最新のスマートシティ展開に関わる実証実験の実施などを STATION Ai 株式会社からの提案により行う業務です。

鶴舞・千種エリアマネジメント協議会の幹事会に参画し、公地と民地を活用した社会実験を行う「第2回社会実験ツルマイ・チクサミズマツリ」の開催協力など、地域との連携を実施しました。

### (3) 維持管理業務

STATION Ai の機能及び性能等を常に発揮できる最適な状態を保ち、利用者の安全かつ快適な施設利用を維持する業務です。

建築物保守管理業務、建築設備保守管理業務、什器備品保守管理業務、衛生管理・清掃業務、保安警備業務、修繕・更新業務、植栽維持管理業務及び外構施設保守管理業務を実施しました。

### (4) 任意事業

事業者の提案に基づき、自らの責任と費用で実施する事業です。

2022年に STATION Ai 株式会社と株式会社ディープロコアを運営者とし、ソフトバンク株式会社、愛知県、名古屋市、県内事業者及び金融機関等を出資者とした投資ファンド「STATION Ai Central Japan 1号ファンド」を立ち上げ、2024年度も STATION Ai 会員のスタートアップを投資対象とし資金調達を支援しました。

#### 【愛知県による分析・評価】

2024年度には、以下の取組等が行われており、適切に業務を実施していると評価できます。

##### <支援プログラム提供業務>

スタートアップへの個別支援、愛知県や関係機関と連携した採用支援、起業支援や資金調達支援プログラムなど、また、パートナー企業へのオープンイノベーション支援プログラムを実施しました。

##### <各種イベント・セミナー開催業務>

コミュニティの醸成を目指した「カフェ会」、「Pitch&Meetup」の開催やパートナー企業による自主的なイベント開催をサポートしました。

##### <任意事業>

「STATION Ai Central Japan 1号ファンド」により、STATION Ai 会員のスタートアップを投資対象とし資金調達の支援を実施しました。

#### 4 ガバナンスへの積極的な取組

##### (1) 本コンセッション事業のガバナンス体制

本コンセッション事業のガバナンスの維持を図るため、STATION Ai 株式会社は、毎月各業務の進捗状況等に関するセルフモニタリングを行い、愛知県によるモニタリングを受けています。こうした取組に加え、愛知県と STATION Ai 株式会社の情報共有や協議、合意形成を円滑化し、本コンセッション事業を安定的に継続するため、内部・外部にわたる複層的なガバナンス体制を構築しており、本コンセッション事業の大きな特長となっています。

愛知県と STATION Ai 株式会社の当事者間における内部統制の仕組みとしては、月に1回程度開催の連絡会議、半期に1回程度開催の事業調整会議、不定期（年に1回以上）開催の協議会といった複層的な会議体が設置されています。会議体の最上位にあたる協議会では愛知県の部長職、STATION Ai 株式会社の代表取締役兼 CEO という両者の責任者が参加しています。

また、外部統制の仕組みとしては、有識者による第三者機関が設置され、中立的・専門的な視点から愛知県と STATION Ai 株式会社の協議促進、相互信頼の構築・回復を図るための助言等を受けることとしています。

##### 【内部統制としての複層的な会議体】

| 会議名    | 参加者  | 開催頻度           |
|--------|--|----------------|
| 協議会    | ・ 県経済産業局革新事業部長<br>・ STATION Ai 株式会社代表取締役兼 CEO                        | 不定期<br>(年1回以上) |
| 事業調整会議 | ・ 県経済産業局革新事業創造部<br>スタートアップ推進課長<br>・ STATION Ai 株式会社の統括管理責任者          | 半期に1回程度        |
| 連絡会議   | ・ 県経済産業局革新事業創造部<br>スタートアップ推進課担当課長<br>・ STATION Ai 株式会社の統括管理業務<br>担当者 | 月1回程度          |

## (2) 2024 年度の取組状況

2024 年度は、連絡会議を毎月 1 回開催するとともに、事業調整会議と協議会を各 2 回開催し、開業及び維持管理・運営を始めとした各業務の実施状況や課題について議論しました。

また、第三者機関による愛知県と STATION Ai 株式会社に対するヒアリングは 7 月に 1 回開催されました。ヒアリングにおいては、STATION Ai 株式会社から 2023 年度の取組状況と 2024 年度の開業に向けた計画について説明し、第三者機関の各構成員から意見や助言をいただきました。

### 【愛知県による分析・評価】

ガバナンスに関する取組については、年間を通じて適切に行われています。

モニタリング基本計画に基づく注意に当たる事案が 1 件発生しましたが、発覚後に迅速かつ適切な対応が実施されております。なお、注意より重い是正措置である是正指導並びに是正勧告に該当する事案はありませんでした。

## 5 愛知県による年間総評

2024 年度は開業の年であり、10 月より会員による STATION Ai での活動が開始しました。開業に向けた 4 月からの会員募集や開業に伴うオープニングイベントの実施、STATION Ai の認知の向上や会員誘致のための広報・誘致活動、会員への支援やイベントの開催などコミュニティ醸成を通じ、2024 年度末においてスタートアップ約 500 社、パートナー企業約 260 社が会員となりました。

また、スタートアップとパートナー企業による会員間のマッチングの支援や、会員のみならず世界的企業と連携したスタートアッププログラムの提供など広くオープンイノベーションに資する取組がされました。

今後も引き続き、会員への支援や会員内外との連携の充実、更なる会員誘致を通じスタートアップ支援及びオープンイノベーションの推進を加速させていきます。

### 【総合評価】

概ね期待どおりの水準で施設運営がなされている。（「愛知県指定管理者制度ガイドライン」で示された評価基準（4 段階評価）のうち 2 番目に高い評価に相当。）